

2022年2月25日(金)
国際芸術祭「あいち」組織委員会

国際芸術祭「あいち2022」ラーニング・プログラム 社会とアートと自分をつなぐプラクティス 「勝手に測る、挟まる、抜け出す」の参加者を募集します

国際芸術祭「あいち2022」では、幅広い層を対象とした様々なラーニング・プログラムを実施しています。

このたび、「参加プログラム」のひとつである**社会とアートと自分をつなぐプラクティス「勝手に測る、挟まる、抜け出す」**の参加者を募集します。10代から20代までを対象とし、**展覧会やアート作品とその周り**にある状況を見て、自分でやってみるプロジェクトです。アーティストの**うらあやか**と**小山友也**のサポートを受けながら、アートラボあいちで4月から芸術祭開幕までの間、週に一度、部活のように活動します。芸術祭開催中には活動場所を愛知芸術文化センターに移し、配信やワークショップなどのイベントを自ら企画し、実施します。

記

1 参加者募集について

アーティストのうらあやかと小山友也のサポートを受けながら、アートラボあいち（名古屋市中区丸の内三丁目4-13 愛知県庁大津橋分室2・3階）を拠点＝部室にして、「あいち2022」での発表に向けた制作や調査、開催期間中のイベントの企画などに継続して関わっていただける方を募集します。

(1) 対象

10代から20代まで（18歳未満の方は保護者の同意が必要）

(2) 定員

30名（要申込）

※定員を超えた場合は、選考を行う場合があります。

(3) 注意事項

- ・本プロジェクトの参加の際（個人のリサーチ含む）に発生する交通費、食費、施設入場料等の諸経費は各自で御負担ください。
- ・活動中の様子を写真と動画によって記録します。記録した写真や動画は御本人の同意のもと、国際芸術祭「あいち2022」の広報物や報告書等で使用する場合があります。
- ・活動にあたっては、参加者を被保険者とした団体傷害保険に、国際芸術祭「あいち」組織委員会において加入します。
- ・2022年4月1日時点で18歳未満の方は、保護者の同意が必要となります。
- ・活動に関して、保護者の方の同伴はできません。

2 活動について

芸術祭開幕までの期間（4月から7月）にアートラボあいちに設置する部室で活動し

ていきます。芸術祭開催中（7月30日（土）から10月10日（月・祝）まで）は、部室（活動場所）を「あいち 2022」の展示会場に移設し、そこで活動を展開していきます。

イントロダクション

本プロジェクトへの導入として、**4月16日（土）、17日（日）にワークショップを実施します。**

(1) 日時

4月16日（土）、17日（日） 両日とも午後1時から午後5時まで

(2) 会場

アートラボあいち

（〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目4-13 愛知県庁大津橋分室2・3階）

※アートラボあいちを拠点に、活動内容に合わせて会場を移動することがあります。

(3) 内容

ア 1日目（4月16日（土）午後1時から午後5時まで）

・キュレーターに話を聞く

「芸術祭って何」

・ディスカッション

「てかアートってなんでやるの？（この作品なんで今ここにあるの？なんで作ったの？どうやって見たらいいの？—鑑賞者の目線から作ることを想像する—）」

・ワークショップ〈会場で鑑賞しつつ、身体を動かすパフォーマンスを行う〉

イ 2日目（4月17日（日）午後1時から午後5時まで）

・ワークショップ①（小山友也）

作品と自分が物理的に関係できると認識するためのワークショップ

・ワークショップ②（うらあやか）

作品の前で身体を動かしてみるワークショップ

・ワークショップ③（ディスカッション）

ワークショップ①、②を踏まえて自分の身体及び身体を含む身の回りの状況にどんな変化があったか、なかったかを話し合う

3 申込方法

次の事項を記載し、画像ファイル、参加同意書を添付の上、国際芸術祭「あいち 2022」ラーニングメールアドレス（learning@aichitriennale.jp）にお申し込みください。

- ・氏名（ふりがな）
- ・年齢
- ・お住まいの地域（市区町村まで）
- ・最近面白かったことについて、写真やスクリーンショットなど画像を3点添付（7

MBまで)

・参加同意書を添付（同意書は公式ウェブサイト 本プロジェクト掲載ページ

(<https://aichitriennale.jp/learning/2022/004745.html>) からダウンロード可)

※メール件名は「勝手に測る、挟まる、抜け出す 参加申込み」と記入してください。

〈申込締切〉 2022年4月11日(月)正午

参加の可否については、4月13日(水)にメールでご連絡します。

4 アーティストプロフィール

うらあやか+小山友也

神奈川県を拠点として、それぞれのアーティスト活動を通し、集まりやラーニング領域において研究、発表を重ねている。

それぞれ東京造形大学 CSLAB、Ongoing School、森美術館 Meet the Artists、などでワークショップやクラスを展開。

うらあやか Ura Ayaka (アーティスト)

1992年、神奈川県生まれ。集まりのあり方を検討。ワークショップなど参加型の作品を多く制作。美術関係者の女性たちのネットワーク「female artist meeting」の企画と運営。CSLAB 管理人。

ウェブサイト urayaka.jimdo.com



うらあやか《差異と差別、何も関係のない、切り離された、別の仕事(塩っぱいアイスクリームショップ)》2019

小山友也 Koyama Yuya (アーティスト)

1989年、埼玉県生まれ。交換の仕方から抽出したりブレンドしたりして、既存の枠組みに従属している身体の可視化と侵食によって、未来を模索する。

ウェブサイト <http://yuyakoyama.tumblr.com/>



小山友也《一緒に歩く/労働や余暇の身振りについて》2018

5 問合せ先

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局(都築、金田、遠藤)

(愛知県県民文化局文化部文化芸術課国際芸術祭推進室内)

住所 〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目13-2 愛知芸術文化センター内

電話 052-971-3111 FAX: 052-971-6115

URL <https://aichitriennale.jp/>

プロジェクトについて (アーティスト・メッセージ)

アートプロジェクト「勝手に測る、挟まる、抜け出す」は、展覧会やアート作品とその周りがある状況を見て、自分でやってみるプロジェクトです。参加メンバーは愛知に住んでいる10代~20代です。幅広い年齢の人たちが週1で集まって行く、部活のようなのだとイメージしてください。部室はALA(アトラボあいち)です。7月からの芸術祭では、美術館などで配信やワークショップのイベントを行います。それらの企画運営も自分たちで行います。(アーティストのうらあやか+小山友也、ラーニングスタッフがサポートをします!)
展覧会に参加している他のアーティストやキュレーターも登場します。

「勝手にやる」

このプロジェクトでは、「勝手に」という方法をリスペクトしています。「勝手に」の方法をアートから学び、その学びによって自分自身が変わってしまうことができれば楽しそう。

しかし勝手にやるためには、そこで何が起きているかをキャッチできていないといけません。勝手にやっていると思っていたのに、実際はやらされていた!なんてことが起きてしまうからです。
なので、出来事をキャッチするために、自分を含めて状況を眺めることから始めます。

たとえば、アートを鑑賞するときには大体の場合、自分と作品との間に何かが起こります。わからなさ、共感、怒り、疑問などが自分の内側に生じます。それと同じように、アートは社会にも影響を与えることがあります。じゃあ、〈社会〉って?何?だれ?どこ?自分たちとどう関係するの?

それを確認するために、街や美術館で観察したり表現したりを色々と試し、測ってみましょう。自分がその関係の中にどう挟まっているのかを、様々なしかたで確かめ、自在に出入りできるようになるためのプログラムです。

それでは、アートプロジェクト「勝手に測る、挟まる、抜け出す」でお会いできることを楽しみにしています!

【参考】国際芸術祭「あいち2022」ラーニング・プログラムについて

- 参加プログラム
 - 一般を対象とした公開プログラム
 - ・アーティストによる美術史講座
 - ・「芸術祭」をひも解く:近代化と万博-オリンピック-芸術祭
 - ・愛知と世界を知るためのリサーチ
 - ・社会とアートと自分をつなぐプラクティス「勝手に測る、挟まる、抜け出す」他
- スクール・プログラム
 - 学校関係者(児童生徒・教員等)を対象としたプログラム
- ボランティア・プログラム
 - 対話型鑑賞のファシリテーターや会場案内などのボランティア育成のためのプログラム